

## 第4回 学校運営協議会 議事録

日時:令和8年2月12日(木) 9:30~11:30

場所:遠江総合高校 会議室

司会:山本かほり(遠江総合高校教頭)

### 1 学校長挨拶

生徒課を中心とした丁寧な指導と支援の積み重ねにより、学校全体は着実に良い方向へ向かっている。生徒の自己肯定感も向上し、表情の明るさからもその成果がうかがえる。今年度は2年次生に週2時間の探究学習を設け、「16の力」を意識した指導を推進しており、成果が現れつつある。3年次生は12月末時点で進路決定率100%を達成し、進路指導体制も十分に機能している。

学習面では「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組み、教員の指導力向上も進んでいる。一方で、1人1台端末の主体的活用は今後の課題である。働き方改革では時間外勤務の削減が進み、支え合う職場づくりを通して信頼関係や働きがいの向上にもつながっている。

生徒の活動では、男子バスケットボール部の県大会初出場をはじめ、各部活動や系列による地域貢献活動、ライフデザイン系列の介護技術コンテスト県大会最優秀賞など、多くの成果があった。これらは保護者や地域の支えによるものであり、今後も生徒の未来を拓く学校づくりと地域活性化に努めていく。引き続き御支援・御協力をお願いしたい。

### 2 協議・報告

#### (1) 学校経営計画に対する自己評価の報告

副校長より、本年度の教育活動および学校経営計画に基づく自己評価について報告を行った。

- 生徒の落ち着きや規範意識の向上、自己肯定感の向上が見られる。
- 3年生の進路決定率は12月末時点で100%を達成。
- 2年生の探究活動(週2時間)の充実により、キャリア意識の向上が見られる。
- 地域貢献活動や各種大会での成果(部活動・系列活動)があった。
- 家庭学習時間の確保や測定結果の授業への十分な還元など、一部課題も確認された。
- 働き方改革では時間外勤務の減少が見られるが、引き続き業務の平準化を進める。
- 広報活動(ブログ・SNS)は充実している一方、ホームページ閲覧率向上が課題。

#### (2) 進路状況報告

過去3年間の進路状況の推移について説明。企業訪問の強化、公立大学・指定校推薦の活用など、進路実現に向けた取組を報告した。

(3) 委員からの主な意見

- 学校の強みや特色をより積極的に発信すべき。
- 数値評価だけでなく、背景や実態の分析を大切にしてほしい。
- 保護者への情報発信をさらに工夫するとよい。
- 総合学科としての幅広い学びや人づくりは大きな強みである。
- 地域や企業との連携をさらに進めてほしい。

(4) 今後に向けて

- 探究活動を2・3年生で継続実施し、地域連携を強化する。
- 公立高校として地域活性化に貢献する取組を推進する。
- 広報の工夫と学校の魅力発信を一層充実させる。

以上で、本年度の第4回学校運営協議会終了した。

委員の皆様には1年間にわたり貴重な御助言をいただき、深く感謝申し上げます。